

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。
謹白



項目名

● 組織因子経路インヒビター2 (TFPI2) (依頼コード No.13657)

受託開始日 2021年9月13日(月) ご依頼分より

組織因子経路インヒビター2(tissue factor pathway inhibitor 2 : TFPI2)は血液中に存在し、外因系凝固反応を抑制する生理的なセリンプロテアーゼインヒビターの1つであり、胎盤タンパク質(placental protein 5 : PP5)と同一のタンパク質です。

このTFPI2は卵巣癌の診断補助に用いる腫瘍マーカーとして、2021年4月1日に保険適用されました。卵巣癌の腫瘍マーカーは複数項目の組み合わせ検査が推奨されていますが、代表的な卵巣癌マーカーであるCA125は、卵巣明細胞癌では感度が低く、月経や腹膜炎、子宮内膜症を含む良性腫瘍等でも上昇する場合があります。

一方、TFPI2は健常人や良性腫瘍ではほとんど上昇せず、卵巣癌のなかでも特に明細胞癌で高値を示します。また、CA125との間に相関関係が見られないことから、両マーカーはそれぞれ異なる要因・作用機序により血中濃度が上昇すると考えられ、卵巣癌の検出において補完関係が示唆されます。

TFPI2を測定することにより、卵巣腫瘍の良性/悪性の判別および明細胞癌疑いの推定が可能となるため、簡便な血液検査による卵巣癌の診断補助、治療法の選択に有用となることが期待されます。

裏面に続きます

受託要領

依頼コードNo.	13657
検査項目名	組織因子経路インヒビター2(TFPI2)
検体必要量	血清 0.5mL
容器	B-1→S-1
検体の保存方法	凍結
所要日数	2~3
検査方法	EIA法
基準値	191.0未満 (明細胞癌の判別カットオフ値: 270pg/mL)
単位	pg/mL
報告範囲	10.0未満～最終値
報告桁数	小数第1位
検査実施料/判断料	190点/144点(生化学的検査(Ⅱ))
備考	<p>1.妊娠時は TFPI2 値が高値となるため、妊婦検体の測定には適しません。</p> <p>2.必ず弊社指定の採血管(B-1)にて採血してください。 採血後、十分に転倒混和し、凝固反応を確認してください。 (凝固反応が不十分の場合、高値を示すことがあります。) 凝固反応後、遠心分離までの放置時間が長くなると、測定値が徐々に低下することがありますので速やかに遠心分離し、血清分離後、弊社指定容器(S-1)にて凍結してご提出ください。</p>

【検査方法の参考文献】

大竹則久, 他: 東ソー研究・技術報告 62, 23-28, 2018.